

“本耶馬溪総合福祉センターのある風景”

「花の苗が余ったから、空いているところに植えとくね」と、ご近所の方が時折、花壇の手入りに訪れてくれている。私が、20 数年前に社協に勤務してから、いつもの変わらない風景であり、おそらく、それ以前からの変わらない風景である。

いつもと変わらない日常であったため、今まであまり深く考えたことはなかったが、ボランティア活動として捉えると、環境美化活動である。しかし、ご近所の方は、そのような感覚は全くなく、いつもと変わらない日常である。

ニーズに対応すべく、新たな仕組みや取り組みも当然必要であるが、「いつもと変わらない日常」の中にも、見落としがちな大切なものが転がっているように感じる、今日この頃です。

